

感染予防のエチケット

日本にコロナウィルスが侵入して沢山の方が感染し、政府の緊所要請で学校の休校が実施され市民生活にも多大な影響が出てしまいました。本部としても対応策が無かったので、感染拡大予防の為に3月に緊急避難的に一斉休講をお願いしました。一斉休講のお陰で我々の教室がクラスター（集団感染）になることは免れました。皆様のご協力に感謝いたします。

ここに来て、漸く政府の感染症対策専門家会議によってクラスターの発生する3つの条件が示されました。これらは不特定多数が参加する場合の最低限の感染防止策です。コロナウィルスは潜伏期間中にも感染する感染力の強いウィルスですから、甚だ心許ないと言わざるを得ません。因みに名古屋のクラスターの一つであるスポーツクラブの例ではコロナウィルスが無いはずのハワイから2月15日帰国した夫婦が感染源でした。発症前にスポーツクラブを利用してウィルスに感染させてしまったのでした。このように被害者である感染者が知らないうちに加害者になってしまいます。

感染してしまうこと自体はご本人には不運としか言えませんが、加害者にならないようにすることがワクチンや特効薬の無いコロナウィルスに対する市民の責任では無いでしょうか。そこで感染予防のエチケットを『生徒の皆様へのお願い』として纏めました。

我々の教室は特定少数で日頃からお互いを知っている仲間同士が集まっています。たとえ何処かでウィルスを貰っても、体調管理をお互いに意識して教室の仲間に移さない感染予防エチケットを守れば、教室がクラスターになることは防げます。是非、生徒の皆さんにもエチケットを実践くださるようお願いしてください。因みに私も本部スタッフや会員の皆さんに感染させることがないよう2月29日から毎朝体温測定と記録を続けております。

皆さんが感染予防に注意して、楽しい教室が続けられますよう祈っております。

琴修会

ライリッシュ・オカリナ連盟

会長 岩間昌一